

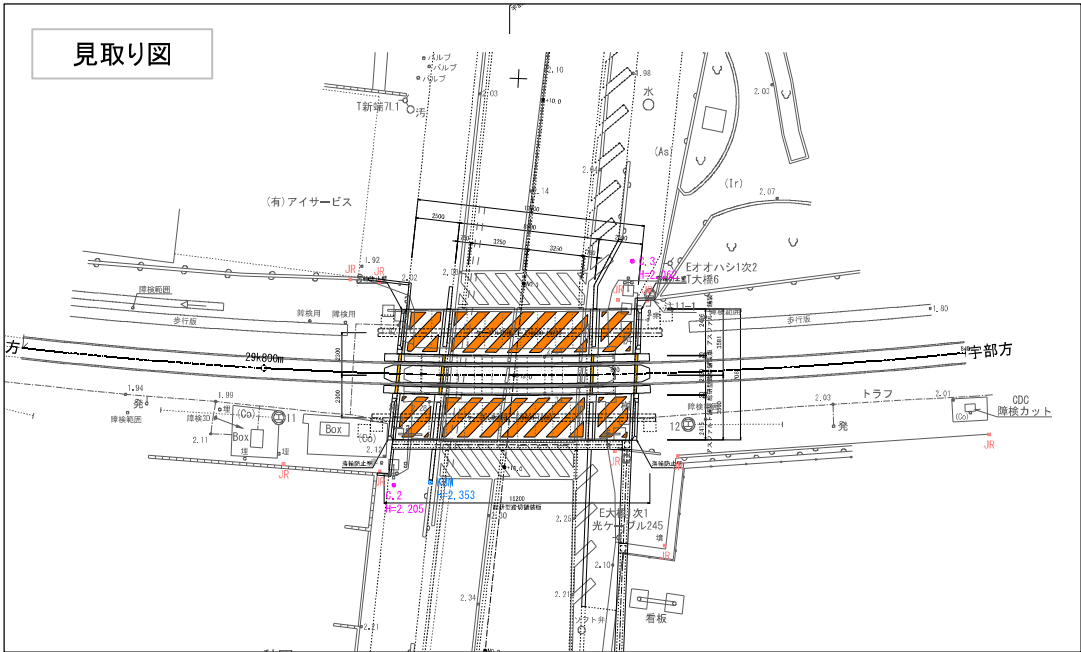
3. 踏切道の改良後の評価について

(別添)

踏切道の評価結果

指定年月日	平成29年1月27日	評価年月日		事業主体	山口県宇部市								
踏切道諸元	鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社											
	道路管理者	山口県宇部市											
	踏切道の名称	平原											
	位置	山口県宇部市大字藤曲宇四ノ割2238-8											
	鉄道の線区名	宇部線											
	道路の路線名	藤曲厚東川線				道路種別 市区町村道							
踏切道の改良の方法	特定改良	改良方法	改良の概要	延長(km) 又は設置数 (式)	幅員 (m)	期間 着手 完了	実施主体	改良の具体的内容					
		構造の改良	踏切拡幅	1箇所	13.40	R2 R3	宇部市 /西日本旅客鉄道株	踏切拡幅することによりボトルネックを解消					
	一体改良												
	備考												
	評価の結果	特定指定要因基準		改良前			改良後			特定指定要因 基準	改良後		
第一号		踏切自動車交通遮断量 (台・時/日)							第八号	改良前			
										改良後			
第二号		踏切歩行者等交通遮断量 (人・時/日)							第九号				
		踏切自動車交通遮断量と 踏切歩行者等交通遮断量 の和(台人・時/日)											
第三号		一時間の踏切遮断時間(分/時)							第十号				
第四号 第五号		幅員 (m)	踏切道	11.1	7.8	1.9	1.4	13.4	8.4	2.5	2.5	第十一号	
			左道路	11.0	8.8	2.2	0.0	13.1	8.1	2.5	2.5		
			右道路	11.2	9.6	1.6	0.0	13.6	8.6	2.5	2.5		
		幅員差 (m)	(踏切道ー左道路)	0.1	-1.0	-0.3	1.4	0.3	0.3	0.0	0.0	第十二号	
			(踏切道ー右道路)	-0.1	-1.8	0.3	1.4	-0.2	-0.2	0.0	0.0		
		自動車交通量(台/日)											
		歩行者交通量(人/日)											
		通学路指定の有無		有			有						
第六号		踏切遮断機の設置											
第七号		踏切支障報知装置の設置											
当該踏切道の安全かつ円滑な交通の確保に重大な関係を有する事項													
評価の概要 (安全かつ円滑な交通の確保に関する状況の調査及び分析)	改良の効果の発現状況		踏切改良により歩車道分離を行うことで、交通事故の防止及び円滑で安全な移動空間を確保できた。										
	地方踏切協議会の意見												
	改善措置の必要性												
	特記事項												

位置図・見取り図・写真



現況写真



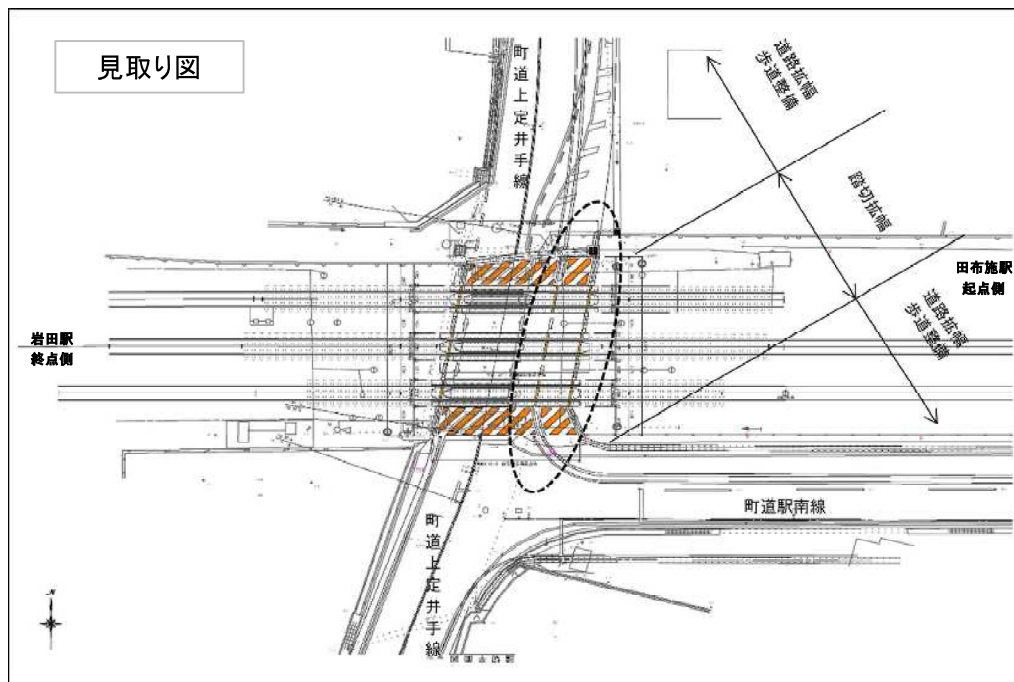
完了写真



踏切道の評価結果

指定年月日	令和3年4月13日	評価年月日	令和7年8月19日	事業主体	山口県田布施町								
踏切道諸元	鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社											
	道路管理者	山口県田布施町											
	踏切道の名称	豆尾第1踏切道											
	位置	山口県熊毛郡田布施町大字下田布施字安平1079-2地先			(田布施駅～岩田駅間)								
	鉄道の線区名	山陽線											
	道路の路線名	町道上定井手線			道路種別	市区町村道							
踏切道の改良の方法	特定改良	改良方法	改良の概要	延長(km) 又は設置数 (式)	幅員 (m)	期間 着手 完了		実施主体	改良の具体的内容				
		構造の改良	踏切拡幅	1箇所	9.50	R4	R6	田布施町 /西日本旅客鉄道㈱	幅員：9.5m(車道部7.0m、歩道部2.5m)、踏切長：14.9m(3線)				
	一体改良												
	備考												
評価の結果	特定指定要因基準		改良前				改良後				特定指定要因 基準	改良後	
	第一号	踏切自動車交通遮断量 (台・時/日)									第八号	改良前	
												改良後	
	第二号	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時/日)									第九号		
		踏切自動車交通遮断量と 踏切歩行者等交通遮断量 の和(台人・時/日)											
	第三号	一時間の踏切遮断時間(分/時)									第十号		
	第四号 ・ 第五号	幅員 (m)	踏切道	全幅	車道	歩道		全幅	車道	歩道		第十一号	
			左道路	4.0	4.0	0.0	0.0	9.5	7.0	2.5	0.0		
			右道路	4.4	4.4	0.0	0.0	9.5	7.0	2.5	0.0		
		幅員差 (m)	(踏切道－左道路)	-1.3	-1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			(踏切道－右道路)	-0.4	-0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		自動車交通量(台/日)										第十二号	構造改良(歩道設置)を行うことにより、児童・生徒の移動の円滑化を促進させた。
		歩行者交通量(人/日)											
	通学路指定の有無		有				有						
	第六号	踏切遮断機の設置											
	第七号	踏切支障報知装置の設置											
	当該踏切道の安全かつ円滑な交通の確保に重大な関係を有する事項												
評価の概要 (安全かつ円滑な交通の確保に関する状況の調査及び分析)	改良の効果の発現状況		歩道が狭い踏切であったが、踏切拡幅により歩車道分離を行うことで、踏切道内において歩行者と自動車等が錯綜することがない事故防止効果の高い安全な移動空間の確保ができた。										
	地方踏切協議会の意見		地方踏切道協議会において、改良の効果の発現が確認されている。										
	改善措置の必要性		改良の効果は発現されており、改善措置を行う必要性はない。										
	特記事項												
			改良による効果の発現は確認できたが、歩行者の安全及び円滑な通行確保を目的に踏切内誘導表示など更なる対策を検討する。										

位置図・見取り図・写真



現況写真



完了写真

